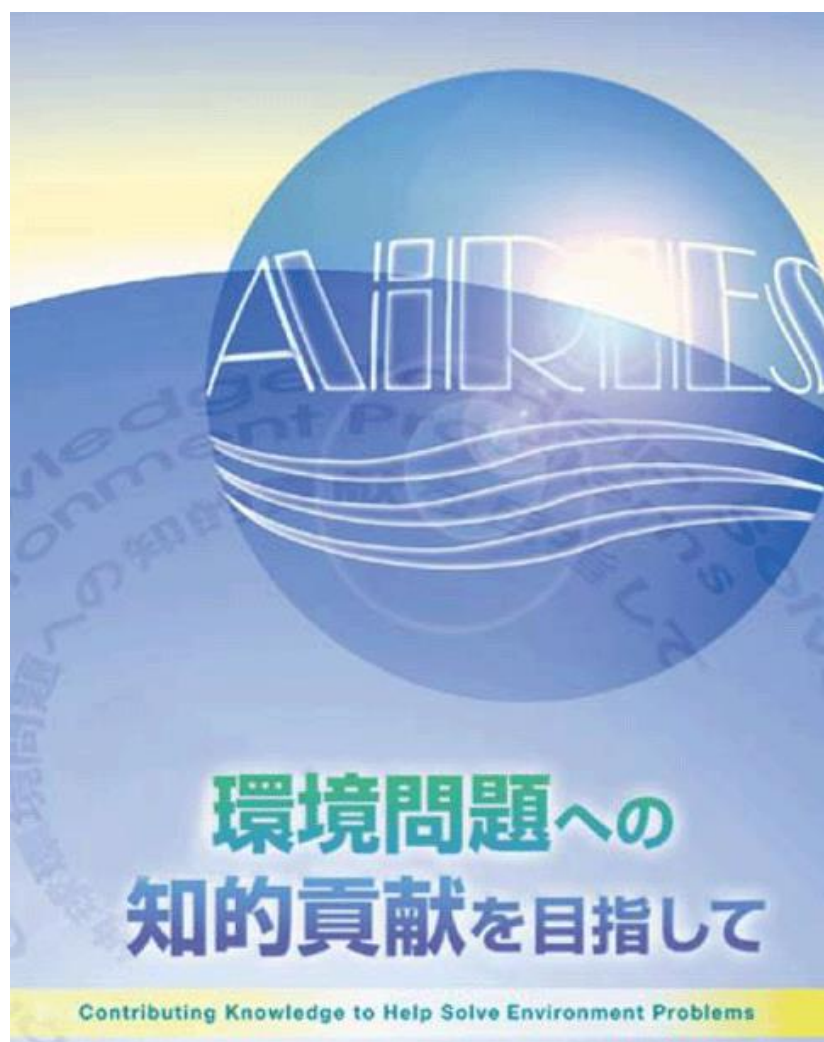


# 国際環境研究協会ニュース

AIRIES NEWS  
AIRIES NEWS

2020年8月 第290号



## CONTENTS

- 1 協会業務報告
- 2 AIRIES 随筆(116) 「オフィサーはつらいよ・フェリー篇」(5)  
原島 省(環境研究総合推進費 プログラムオフィサー)
- 3 業務報告

# 協会業務報告

## 徳田博保(専務理事)

今年梅雨明けが例年になく遅く、7月はほとんど毎日雨が降っていましたが、そんな中でコロナウィルス感染症は全国的に急速な広がりを見せています。我が国の感染者数は欧米諸国と比べて少ないと言われてきましたが、今では英独仏伊各国(数百~千数百名)と毎日発表される新たな感染者数は大差なくなってきました。

そういう中で緊急事態宣言は解除されたままで、不要不急の外出を控えるように言われています。

不要不急ではない用事の人が多いのか、電車の混み具合は1年前の状態に近づきつつあるように感じられますし、協会周辺の人通りは、秋葉原・上野を席卷していた外国人が目立たなくなった点を除いてほとんど元の状態に戻っているように見えます。

クラスターが発生しているとされる演劇やコンサートなども、役者や演奏家にとっては生きるのに不可欠な仕事でしょうし、観劇者にとっても安らぎを得ることができる場であって不要不急とは言えないかもしれません。何が不要不急なのかは人により感じ方が異なるでしょうから、難しいところです。

そもそも外出せず家に閉じこもっていると人生自体が不要不急とってしまう人が出てくるのではないかと警察庁の自殺者数の統計を見てみたら、4~6月の3か月間の自殺者数は昨年より15%程度減少しています。コロナという共通の敵に向かって連帯感のようなものが生まれているとの解説があるようですが、わかるような気がします。

欧米ではコロナウィルス感染症が蔓延している中で大気汚染とコロナウィルス感染症の関係の研究が行われてきていて、ハーバード大学の研究では

PM2.5が1立方メートルあたり1マイクログラム増加すると、コロナウィルスによる死亡率が8%増加するという結果が4月に報道されていました。その後7月にはオランダの研究で16.6%増加と報告されています。ほかにも、セーヌ川からコロナが検出されたとか、イタリアでの抗体検査の結果、犬の陽性率が約3%、猫が約4%だった(査読前論文、PCRは陰性)という報道もありますが、コロナの収束が見通せない中、「コロナと環境」に関する研究も重要性を増してくるかもしれません。

さて、協会の主要業務ですが、CO2排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業管理・検討等事業では、月末に新規採択審査が行われました。すべてオンライン会議で、事前に接続テストをしても本番では音声がつながらないなどのトラブルもありましたが、パソコンからスマホへの切り替えなどの対応により、なんとか無事に実施できました。

画像を出すと通信速度が遅くなるのか画面がフリーズしたり音声にも影響があったりすることから、発言者以外の画像を消して実施しました。顔が見えないことが影響したのか質問が多くなる傾向があったようです。より充実した質疑が行われたと言えますが、その分会議時間を延長せざるを得なくなり中途退席せざるを得ない人もいて、悩ましいところです。

環境研究総合推進費に関連する業務については、7月には企画委員会、追跡評価委員会等が開催され、8月には戦略研究に関する委員会が3つあるほか制度評価委員会も予定されています。しばらくオンライン会議が続き、出席率は高くなりそうです。

引き続き、みなさまのご指導・ご支援のほど、よろしく願いいたします。



## 「オフィサーはつらいよ・フェリー篇」(5)

原島 省(環境研究総合推進費 プログラムオフィサー)

それ以後になります。瀬戸内海のモニタリングは1994年から関西汽船の「さんふらわあ2」で継続させていただくことになり一安心。1998年には、その後継船である「さんふらわああいぼり」に引き継ぎ、2008年まで続けることができました。その概要は、単行本「海の働きと海洋汚染」(裳華房ポピュラーサイエンスシリーズ)や国立環境研究所の広報誌「環境儀」39号に紹介しました(<https://www.nies.go.jp/kanko/kankyogi/39/39.pdf>)。当然ながら、得られたデータで研究論文もでき、そのうちの一篇は、当協会のホームページからダウンロードできます。(学術誌「地球環境」Vol.16、

([http://www.airies.or.jp/journal\\_16-1jpn.html](http://www.airies.or.jp/journal_16-1jpn.html))。

「檀皇」は、その前身が本州・九州間を結ぶ「フェリーとね」、次に新日本海フェリーの「フェリーしらゆり」だったのですが、大阪・釜山航路の後に1997年にフィリピンの船会社に売却され、ネット情報によると4度目のご奉公先としてネグロス島航路に就航したようです。

前述の田中君は、現在田中教授となって、大学の練習船により学生実習のかたわらで海水を各層別に採取し(フェリーでは上層しか採水できなかった)、マイクロプラスチック粒子の観測と計測にいそしんでおられます。計測対象からも社会的な理解を得られることは確実で、間違っても27年前のフェリーの時のようにしょっぴかれるなどということはありません。その一方、彼はその悪夢のような体験にも懲りず(ご本人の表現)フェリー「ひまわり8」でもマイクロプラスチックの観測をしているとのことで、これには筆者も声援を送りたいと思います。

最後に、オーナーの許永中氏についてです。筆者も [wikipedia](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E6%8D%B7%E6%B3%95%E4%B8%AD) やものの本(許永中 日本の闇を背負



い続けた男、講談社+α文庫2010年、文藝春秋2018年4月号など)以上の情報は持ち合わせていないのですが、1991年のイトマン事件の他にも社会的な関心を引くことが多かったことは間違いありません。とにかく、このモニタリング・研究は氏の会社が存在しなくては始められなかったことでもあり、現代であれば、CSR(Corporate Social Responsibility、企業が利益の一部を社会的貢献に振り向けること)の好例となるでしょう。ただし、所有していた会社が環境研究に貢献したことを、ご自身の著作(「海峡に立つ」、小学館2019年刊)を見ても、氏ご自身が認識されていたかどうかはわかりません。

先述の本の著者は「虚業の多かった許永中氏の事業のなかで、日韓フェリー事業は唯一の正業といえるかもしれない」と結んでいます。筆者の個人的な見解を付け加えさせていただくことが許されるならば、正業として事業の形は、運行管理者のKさん、船長、航海士、機関長などのオフィサー達の働きによって担われていたところが大きかったのではないかと、ということになるかと思えます。

(了)

# 業務日誌



(2020年7月)

7/2(木): CO2 対策事業 視察・検討会に出席(平塚)

3(金): 推進費制度 第1回追跡評価委員会を開催(Web会議)

6(月): CO2 対策事業 打合せ(Web会議)

7(火): 推進費制度 第1回環境研究企画・推進委員会  
(Web会議)

CO2 対策事業 打合せ(Web会議)

9(木): CO2 対策事業 打合せ(Web会議)

13(月): CO2 対策事業 環境省打合せ(Web会議)

15(水): 推進費制度 中間評価ヒアリング(資源循環)に参加  
(ERCA Web会議)

CO2 対策事業 バイオマス分野分科会を開催(Web会議)

CO2 対策事業 打合せ(Web会議)

17(金): 推進費制度 中間評価ヒアリング(S-17)に参加(ERCA  
Web会議)

CO2 対策事業 交通分野分科会を開催(Web会議)

20(月): CO2 対策事業 打合せ(Web会議)

CO2 対策事業 検討会に出席(Web会議)

21(火): 推進費制度 中間評価ヒアリング(気候変動)に参加  
(ERCA Web会議)

CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web会議)

22(水): CO2 対策事業 社会システム分野分科会を開催  
(Web会議)

28(火), 29(水): 推進費制度 中間評価ヒアリング(統合)に参加  
(ERCA Web会議)

31(金): CO2 対策事業 検討会に出席(Web会議)

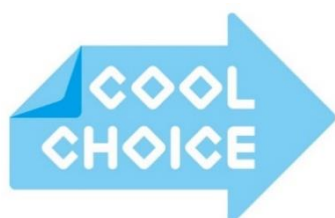
CO2 対策事業 キックオフ会合に出席(Web会議)

\* 推進費制度: CO2 対策事業 検討会(Web会議) 環境研究総  
合推進費制度運営・検討業務

CO2 対策事業: CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・  
実証事業管理・検討等事業

マイクロプラ事業: マイクロプラスチックのモニタリング手法  
の標準化及び調和に向けた検討業務

ERCA: 独立行政法人環境再生保全機構



AIRIES NEWS  
AIRIES NEWS

編集・発行

一般社団法人国際環境研究協会

(日本学術会議協力学術研究団体)

〒110-0005 東京都台東区上野 1-4-4

TEL: 03-5812-2105

FAX: 03-5812-2106

E-mail: airies@airies.or.jp

Homepage: <http://www.airies.or.jp>